

特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 2011年度 事業報告書

◆FTCJ 事務局◆

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 安藤ビル 3F

TEL&FAX:03-6321-8948

Email:info@ftcj. com URL:http://www.ftcj.com

2011 年度事業報告書

2011年4月1日~2012年3月31日まで

1. 2011 年度 事業を実施して

▼はじめに

(特活)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン(FTCJ)は、2011 年 4 月より高校生の時からメンバーとして活動に参加し、一般企業や NGO 業界での経験を積んだ FTCJ 活動歴 10 年の町井望を新たに専従スタッフとして迎え、事務局の運営を専従スタッフ 4 名、及び、非専従(アルバイト)スタッフ 3 名、その他インターンやボランティアメンバーに参加して頂き実施することができました。それにより、2011 年度の課題であった「子どもメンバーの活動サポート強化と体制作り」に特に注力して取組むことができ、子どもメンバーの主体的な活発なアクションやチームが複数生まれました。そして、念願だった子どもや学校数が多い世田谷区への事務所移転を果たしたことで、世田谷区の行政、民間組織、学校、人々との多くの新しい出会いがあり、地域とのつながりの重要性に改めて気づくことができた年でした。

新しい取組みとしては、東日本大震災を受け 2011 年度の事業として、福島県相馬市の学校支援を行ったことです。 国内の子どもを受益者として教育支援を行ったことは FTCJ にとって初めてのことでした。また、FTC カナダのサポートによる日本の子ども、特に被災した子どもへの心のケアにつながるエンパワーメント・ワークショップの開発にも着手しました。それと並行して、FTC インドやカナダとの連携・協働によるインドの貧困農村地域の自立支援事業の拡充に向けた取り組みも行いました。今後は、2011 年度に始めたプログラムがより充実したものとなるよう、少しずつではありますが、継続して実施することで、成果を出すことができるよう活動にしっかりと取り組んでいきたいと思いますので、今後ともご協力よろしくお願いします。

代表理事 中島早苗

▼2011 年度 活動のハイライト

今年は、6月に世田谷区に事務局を移転して、新しい地での活動スタートとなりました。

- 1. 東日本大震災への緊急支援として、福島県相馬市の学校や教育委員会と連携して活動を実施
- 2. 東アフリカ干ばつ緊急食料・医療・教育支援の実施
- 3. WEB リニューアルによるメンバー登録の増加
- 4. 子どもメンバーによる活動活発化に向けた体制作りと実質的サポート強化の実施
- 5. 世田谷区における地域密着型活動への着手
- 6. 認定 NPO 法人取得に向けた活動とその実現

2011 年は国内外での大規模災害の東日本大震災や東アフリカ干ばつに対して緊急支援を行いました。その実施に向け、子どもメンバーによる企画運営事業「チョコプロ」が多くの方のご協力により展開されました。また、一時的な緊急支援に留まらず、被災地域の復興、特に子どもの権利擁護のための自立支援に向けた事業を今後展開していくためのプログラム開発や、ネットワークづくりに取り組みました。

2011 年の課題として挙げていた4、5の取組みのために、新しく専従スタッフとして町井望を迎え、高校生の時からの活動の経験を活かして、子どもメンバーへのサポート体制の見直しと子どもメンバー主体による複数のチームが発足するなど活動のより一層の活発化を実現できました。また、スピーカー担当スタッフの天野フェイスによるスピーチ・ワークショップ・全国ツアーを実施し、地方のメンバーを含める子ども若者へのエンパワーができました。FTC カナダとの協働事業「テイク・アクション・アカデミーin カナダ」に日本の学生の参加が実現できたことは大きな第一歩でしたが、参加者が3名と少なかったことは今後の課題です。

2010 年度の団体の目標として掲げていた認定 NPO 法人取得については、2011 年度に申請作業を進め、国税局から 3 月に認証されました。今後は認定 NPO 法人として求められている内容や資質に適うよう事業を運営していきます。

その一方で、取り組めなかったり、次年度へ繰越となったりした事項もありました。具体的には、

- ・リーダーシップトレーニングの教材開発
- ・ワークショッププログラムの明文化とファシリテーター育成

上記 2011 度中に実施できなかった事項については、2012 年度に取り組む課題として引き継ぎ、団体の目的の達成のために良質な活動と組織運営を進めていく所存ですので、どうぞご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

1) 子ども主体事業

担当:子ども代表委員 2011

◆子ども代表委員 2011(10 人)

赤岩 真詠 (高校2年生)、大屋敷 奈々 (高校3年生)、齋藤二コラス (高校3年生)、志賀 アリカ (高校3年生) 日月 あすか (高校2年生)、富樫 泰良 (中学3年生)、富永 藍 (高校2年生) FTCJ 熊本グループ 林 優花 (高校2年生)、星野 響子 (高校3年生)、宮地 志歩 (高校2年生)

◆事業の目的と役割 と 活動内容

- ・全国の子どもメンバーの活発な活動を目指し、情報交換や共有、意見交換の場をつくる。
- →そのために ①Skype プロジェクト(インターネットを通じた動画電話で意見交換)
 - ②世田谷区夏休み子どもイベント企画運営
 - ③チョコプロ
 - ④インド支援のためのライブイベント企画運営

活動	内容	実 施日 時	実 施 場 所	従事者 の人数	参加対象者 の範囲・人数
① Skype プロジェクト	熊本、大阪、東京、岩手の子どもメンバーをインターネット電話(Skype)で繋ぎ、活動の情報 交換を行った。	通年	事務所、交流会館、その他	12 人 12 人	子ども代表 委員 10 人+ 子どもメンバ ー
②世田谷区 夏休み子ども イベント	世界の貧富の格差を、体験してもらうための ワークショップをおこなった。	7/31	生活工房	7人	453 人
③チョコプロ	東日本大震災、及び東アフリカ干ばつ緊急支援の資金を集めるため、子どもメンバーがチョコレートを販売する活動。パッケージのデザインや価格、販売ルートをメンバーが考え実施。	4 [~] 6 月/ 10 [~] 3 月	事務所、その他	15	500 人
④インド支援 のためのライ ブイベント	インド支援のための資金を集めるために、子 どもメンバーが運営から実施までを担当し、チャリティライブを行った。	3/12	北沢タウンホー ル	10	80 人

【活動にご協力頂いたみなさまのご紹介】 実施に対し、下記の方々にご協力頂きました。

- -Skype プロジェクト: キリン福祉財団
- ー世田谷区夏休みイベント:世田谷区文化・国際課 助成金
- ーチョコプロ: 商品提供 東京・千鳥屋 / 商品紹介協力 シンプル家事.com、東京ユニオンチャーチ
- ーインド支援ライブイベント:世田谷区文化・国際課 後援

【写真で見る子ども主体事業】



スカイプ・プロジェクト



チョコプロ



世田谷区夏休み子どもイベント



インド支援のための子ども企画ライブイベント

2) 子ども活動応援事業 担当: 町井望、天野フェイス、出野恵子、中島早苗、古橋侑佳、河本千夏

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

- 1) 国内の子どもが、世界の開発途上国でみられる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題 を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。
- 2) 国内外の子どもの権利の擁護を求め、子ども参画を果たすための子どもによる活動のサポートを行う。そのために
 - ー育成事業 ①アカデミー(リーダーシップトレーニング)企画実施、②カナダでのワークショップ開発・海外研修
 - ーメンバーサポート ③子ども主体事業サポート及び全国のメンバーの活動サポート を実施しました。

活動	内 容	実 施日 時	実 施場 所	従事者 の人数	参加対象者 の範囲・人 数
①アカデ ミー企画 実施	FTC カナダが行う Take Action Academy(夏にトロントで実施されている子ども・若者向け 1 週間のリーダーシップトレーニング・プログラム)に日本の子ども若者が参加できるよう企画運営。また、日本の参加者には英会話習得のための特別プログラムをカナダで用意して約2週間実施。	7/21~8/2	Toronto 郊外、 Me To We Leadership Centre	2人	3人
	One Day Academy in Japan の企画実施。日本にいる子ども若者が社会問題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ1日で行われる参加型ワークショップを実施。プログラム: -より良いスピーカーになろう! -企画書の書き方を学ぼう	9/25、2/11	事務所	3人	28 人
②ワーク ショップ 開発海 外研修	東日本大震災の被災児童を支援するための心のケアにつながるワークショップや、日本の子どもが自主的に社会問題にアクションを起こすためのワークショップを開発するためのカナダ MetoWe への短期研修	2/13~3/9	カナダ(トロント)	1人	_
④子ども 主 体 事 業サポート	チョコプロなど子ども代表委員による企画事業へのサポートを実施。活動を担当する子どもメンバーに、企画書の書き方、電話のかけ方、プレスリリースやチラシの作成など日々サポート。	通年	事務所	6人	子ども代表 委員を中心 に子どもメン バー
⑤子ども メンバー 活 動 サ ポート	メンバー登録をした子ども達へイベントや活動の 情報を定期的に流したり、電話やメール、オフィ スでの対応を通じて子どもメンバーが主体的に 活動できるようサポートを実施。	通年	主に事務所	6人	全国の子ど もメンバー 400 人
	メンバーによって構成されている活動チームへのサポートの実施。 【活動チーム】 子ども記者チーム、アートキッズ、アンバサダーチーム、English チーム、募金チーム	通年	主に事務所	6 人	チームに所 属するメン バー

【活動ご協力のご紹介】

- ◆活動費助成協力:
 - -三菱 UFJ 国際財団 →Take Action Academy in Canada
 - -外務省主催 NGO 長期スタディ・プログラム (事務局: (特活)国際協力 NGO センター) →海外研修
 - -外務省主催 NGO インターンプログラム (公益社団法人青年海外協力協会)

【写真で見る子ども活動応援事業】



アカデミー企画実施



子ども主体&子どもメンバー活動サポート

3) 外部ネットワーク事業

担当:中島早苗、町井望、出野恵子、伴野保忠、西郷和将、古橋侑佳

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働し FTCJ のビジョン、ゴールを実現することを目指す事業です。

<2011 年度参加・構築したネットワーク>

- ・ JNNE(教育協力 NGO ネットワーク): 開発途上国の子どもへの教育支援を行っている NGO によるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施しています。また、外務省との意見交換や政策提言なども行います。
- ・ 「世界中の子どもに教育を」キャンペーン:世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し、世界の EFA(万人の ための教育)運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動をしています。JNNE 加盟団体 などで実行委員会を構成し、実施しています。FTCJ は運営委員団体として参加。
- ・ 児童労働ネットワーク(CL ネット): 児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組む NGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJ は運営委員団体として参加。
- ・ 日比 NGO ネットワーク: フィリピンでの開発支援活動を行う日本の NGO とフィリピンの NGO によるネットワーク。フォーラムや外務省との懇談会、団体間での情報交換を実施しています。
- 「国連子どもの権利委員会に個人が申し立てできる制度を作ろう!キャンペーン」へ参加し情報交換、活動を実施。
- 「動く→動かす」への賛同団体としてネットワークに参加し、活動を実施。
- ・ <u>その他非営利組織への会員登録や他団体との協力</u> より良い事業運営のため JANIC、DEAR、なんとかしなきゃ!プロジェクトなどへの団体会員登録や、活動への参加。

【写真で見る外部ネットワーク事業】



JNNE 世界中の子どもに教育をキャンペーン

(国会議員及び関係者 40 名近くにお集まり頂き、ODA の基礎 教育支援の拡充と重要性について子どもメンバーが 先生役になって参議院議員会館で授業を行いました)



CL ネット: 児童労働について集めた署名を 外務省に子どもメンバーが提出しました。

<ネットワーク構築事業による活動一覧>

\4\7\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\					₩
ネットワー ク名	内 容	実 施日 時	実 施場 所	従事者 の人数	参加対象 者の範囲・ 人数
JNNE	教育協力 NGO との情報交換、またそれらの情報を事業 担当者や会員へ提供。	通年	-	1人	会員全体
	「女の子と女性の教育」に焦点をあてた教材が作られ、 日本の小中高校大学 270 校の 35371 人が授業に参加。		中学校、事務所	4 人	300 人
世界中の子 どもに教育を キャンペーン	4/26 に FTCJ 子どもメンバーが「先生」となって、国会議員31名、議員代理7名に対して、途上国の子どもの教育をテーマに授業を実施。JNNEからNGO提言を伝えた。 5/20 に子どもメンバーが外務省を訪問し、「世界一大きな授業」に参加した全国の子どもたちから寄せられた首相宛のメッセージカードを日本政府に届けた。	4 月~ 7月	国会議員、 外務大臣など への 政策提言	4人	6人
	5/5~6/30 にかけて「児童労働反対世界デー・キャンペーン 2010」を開催。児童労働ネットワークの 22 会員団体及び 16 キャンペーン賛同団体により、期間中イベントが開催され、多くの参加を得た。FTCJは、都内で学習会をしたり、シーライツとの共催で大阪・御堂筋での児童労働学習会とウォークを企画、準備、運営を実施	5/5 -6/30	全国	5人	400 人 (FTCJ イ ベントの み)
CL ネット	6月12日(日)に文京学院大学仁愛ホールにて、NGO- 労働組合国際協働フォーラム、ILO駐日事務所、児童労 働ネットワークの三者共催で「児童労働反対世界デー・ イベント映画上映会&シンポジウム児童労働の今、そ して未来」を開催した。総勢約60名のスタッフで運営。	6/12	文京学院大学 仁愛ホール	5人	329 人
	2007 年度から実施している署名活動を今年度も実施した。「児童労働をなくそう!10万人署名」を2010年4月12日~7月31日に呼びかけ、21万2346筆の署名を集めた。その後子どもメンバーと共に10-11月に外務省、厚生労働省、文部科学省の各大臣又は副大臣へ署名を提出し、要請を行った。	10 月	各省庁へ訪問	2人	_
	児童労働に関する学習会を実施	通年	総評会館	1人	_
日比 NGO ネットワーク	フィリピンのよりよい開発支援のための話し合いや、外 務省との情報交換、日比 NGO シンポジウムフォローアッ プ。	通年	事務所、東京	1人	フィリピン の人々
子どもの権 利委員会に 個人が申立 制度を作ろ う!キャンペ ーン	キャンペーンの効果もあり、2011 年 12 月日本政府が新議定書案の共同提案国となるという戦後史上初めての快挙を伴って、国連総会で新議定書案が採択された。引き続き 2012 年中の日本政府による新議定書の署名・批准を目標として、1 年ほど、キャンペーン期間を延長することになった。	通年	事務所、東京	1人	日本にい る子ども
動く→動かす	00 年国連ミレニアム・サミットで、世界の貧困問題を解決するために、15 年までに達成するべき目標として「ミレニアム開発目標」(Millennium Development Goals: MDGs) が掲げられたことを受け、このMDGsを達成し、世界の貧困問題解決に向けた取り組みを日本から作り出すことを最大の目標として活動するネットワーク。2011 年は、「震災をとおして見えた世界と日本」と題してメインイベントを実施。	主に 9 [~] 10 月	事務所、東京	2人	世界の貧 困下にい る人々



世界の貧困を解消するためのキャンペーンとして、

「震災をとおして見えた世界と日本」メインイベントを開催

4)フドボカシー事業

担当:出野恵子、町井望、天野フェイス、中島早苗、河本千夏、古橋侑佳、佐藤美紗子、佐藤せり奈、 ----Sharita Khatiwada、戸前順子、茶円愛子、国松友樹、浅田紀子

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的: 国際問題や権利を奪われた子どもの現状を様々な方法で伝え、多くの人に知ってもらうことで問題解決につなげる。主に関東と関西で事業を展開しています。

内容:ニュースレター発行、ホームページ構築・更新、出版、資料開発、物販(フェアトレードチーム)、イベント実施、アクションキッズ(演劇を通じて児童労働問題を伝える活動)、スピーカー派遣など

事業名	内 容	作業実 施 日 時	実施場所	従事 者 人数	受益対象者 の範囲及び 人 数
	NL 26 号 特集:現地をリアルに感じる、魅力たっぷり モンゴルスタディーツアー	8月			
ニュース レター発行	NL 27 号 特集:楽しく国際協力と英語を学ぶ! テイクアクションアカデミー	12 月	東京 事務所	6 人	各号 300 部印刷
	NL 28号 特集:「やってみたい!」が活動の始まり	3 月			
ホームページ更新・作成	新しい情報をデザインするなど随時対応。特に国際問題や支援活動に関する情報を充実させる。クライアント数:45,591/ページビュウ:年間総数:293,888/一人当たり 6.5 ページの閲覧/ファイルダウンロード数:4000件(TAACや文通、他チラシなど PDF データ)	通年	-	6人	1 日平均 150 人 程度アクセスあり
出版	出版した書籍のプロモーション・キャンペーン	通年	各イベン ト等	3 人	-
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など。	通年	事務所	6人	子ども、一般
アクション・ キッズ	演劇を通じて児童労働を伝えるチーム活動。児童労働イベントでコットン畑で働く子どもの劇公演。	6/12	文京学 院大学	15 人	400 人

【写真で見るアドボカシー事業】



ニュースレター発行





フェアトレード商品や出版物の販売



アクション・キッズ



イベント出展・スピーカー派遣

◆イベント実施、スピーカー派遣

通算 77回 / 対象 4,050人へ実施

事業名	内 容	作業実 施 日 時	実 施場 所	従事 者 人数	受益対象者 の範囲及び 人 数
	【テレビ番組 BS11「今私たちに出来る事」】東日本大震 災被災地支援についてやチョコプロ活動紹介	4/5	スタジオ、 都内	3人	-
	【ボーダレス チャリティートークショウ[プレミアム]】 東北の為に子どもが出来る事の活動紹介	4/8	都内 ムライシアター	2 人	30 人
	【岡崎中学校訪問】子ども同士で話し合おう、交流会	5/22	大阪府 大阪市	2 人	30 人
	【尚絅学院大学】 FTCJ 紹介、ワークショップ	5/23	宮城県 名取市	1人	90 人
	【文京学院大学】フィリピンでの児童労働、活動紹介	5/25	東京都 文京区	1人	20 人
	【K. International】 FTCJ 紹介	6/3	東京都 江東区	1人	40 人
	【名古屋青年会議所主催ワークショップ】 児童労働カードゲーム、FTCJ 活動説明	6/18	名古屋	2 人	60 人
	【立命館宇治高校】 FTCJ 紹介、ワークショップ	6/20	京都府 宇治市	1人	10 人
	【町田市立真光寺中学校】FTCJ 紹介、児童労働カード ゲーム、リーダーシップ WS、ワークショップ	7/2	東京都 町田市	3 人	25 人
	【Kanto Plains Baptist Church】 団体説明とインドスタディーツアーについて紹介	7/10	東京都 福生市	1人	60 人
	【フェアトレード市】に参加し、フェアトレード商品アピール	7/13	JICA 地球ひ ろば(東京)	4 人	80 人
イベント出展・	【国際教育セミナー】子どもにできる国際協力について ワークショップと講演会を実施	7/30	JICA 大阪	2 人	20 人(主に教員)
スピーカー 派遣	【文京学院大学】フィリピンフィールドワーク説明会	8/1	東京都 文京区	1人	14 人
	【桃山学院中学校高等学校】 教職員へのワークショップ実施。	8/24	大阪市 阿倍野区	1人	30 人
	【千代田高等学校】 FTCJ 紹介、ワークショップ	9/2	大阪府 河内長野市	1人	29 人
	【グローバルフェスタ】国際協力イベントに参加し国際問題を学ぶワークショップの実施やフェアトレード商品や書籍販売	9/2、3	東京都 日比谷公園	20 人	1,000 人
	【インドスタディツア一報告会】8 月にインドに行った参加 者で現地訪問の様子をワークショップを交えて報告	9/18	JICA 地球ひ ろば(東京)	10 人	40 人
	【立命館守山高校】「高校生にもできる国際協力」講演会、児童労働シミュレーション・ゲーム	10/22	滋賀県 守山市	1人	240 人
	【桃山学院高等学校】フリー・ザ・チルドレンの活動内容と高校生ができる募金活動のヒントなどについて	10/23	大阪府 阿倍野区	2 人	20 人
	【立命館守山高校】児童労働カードゲーム、FTCJ 紹介	10/29	滋賀県 守山市	1人	120 人
	【加藤学園暁秀高校】英語で FTCJ 説明	11/11	静岡県 沼津市	1人	60 人
	【INSPA】FTCJ 活動紹介	11/12	愛知県 名古屋市	1人	30 人
	【子どもの権利条約フォーラム in 広島】ワークショップ実施、FTCJ 活動紹介	11/13	広島県 広島市	4 人	10 人
	【TEDxYouth@Tokyo】に参加し、FTCJ 活動紹介	11/20	東京都	1人	300 人

	【土佐塾高校】国際問題ワークショップ、FTCJ 紹介	11/21	高知県 高知市	1人	300 人
	【吉野英語教室】幼稚園児、小学生を対象に世界の問題について歌や講演会、ワークショップを実施	12/2	福岡県 福岡市	1人	50 人
	【区民センターさいとびあ】世界の問題について学ぶ ワークショップ実施	12/3	福岡県 福岡市	1人	15 人
	【早良キリスト教会】国際問題について学ぶ 歌と講演会	12/4	福岡県 福岡市	1人	30 人
	【熊本国際交流協会】活動のヒント講座ワークショップ	12/5	熊本県 熊本市	3 人	30 人
	【立命館アジア太平洋大学】世界の子どもたちについて 講演会、活動ヒントワークショップ	12/6	大分県 大分市	3 人	10 人
	【マリスト学園】講演会、交流会	12/6	熊本県 熊本市	1人	190 人
	【駿河台大学】世界の子どもたちへの偏見、親の偏見、 差別問題について講演	12/14	埼玉県	1人	50 人
	【青山学院大学】児童労働の解決向けた FTCJ の取組 講演会	12/15	東京都	1人	60 人
スピーカー	【能勢高校】「児童労働とFTCJの取り組みについて」 講演会	12/19	大阪府 能勢	2 人	60 人
派遣事業	【不来方高等学校】国際問題を学ぶワークショップ、 話し合い	12/20	岩手県 岩手市	1人	10 人
	【八戸聖ウルスラ学院】世界の児童労働の現状+シュミレーションゲーム+私たちにできること(FTCJ の活動)	12/21	青森県 八戸市	1人	70 人
	【エココン@オリンピックセンター】 FTCJ 活動紹介スピーチ	12/27	東京都 代々木	1人	大学生、院生 80 人
	【FTCJ 同窓会 & 交流会】FTCJ 元子どもメンバーや新メンバーが集う会を実施	2012 年 1/14	FTCJ オフィス (東京)	8人	40 人
	【茗溪学園高等学校】 活動紹介、国際問題を学ぶ ワークショップ	1/23	茨城県	3 人	250 人
	【公文教育研究会向け】リーダーシップトレーニング及び世界や日本の現状に関するワークショップ	2/6-8	大阪	1人	9人
	【神奈川県立総合高校】児童労働や FTCJ の取組、高 校生にできることについてワークショップ	2/21	神奈川県 横浜市	2 人	80 人
	【ソーシャルエナジーカフェ】インド訪問報告会	2/21	東京 世田谷区	2 人	6人
	【涙プロジェクト】社会問題に取組む方法ワークショップ	3/31	東京都	3 人	15 人
	【国際ソロプチミスト・東京―銀座主催チャリティーコンサート】にて、チョコプロ販売、活動紹介	3/31	ホテルオーク ラ(都内)	7人	200 人
事務所訪問 対応	世界の児童労働や貧困の現状と解決に向けた FTCJ の活動紹介について説明、スピーチなど実施	21 回	FTCJ オフィス (東京)	8人	65 人
FTCJ 説明 会 &活動ヒ ント講座	月一度定期的に、東京オフィスにて世界の児童労働や 貧困の現状と解決に向けた FTCJ の活動紹介などを紹介し、活動のヒントやコツなどの講座を実施。	12 回	FTCJ オフィス (東京)	5 人	60 人

【活動ご協力のご紹介】

◆活動費助成協力:

外務省主催 NGO 長期スタディプログラム・フォローアップ活動助成(事務局:(特活)国際協力 NGO センター)

5)海外自立支援事業 · 緊急支援事業 担当:中島早苗、鈴木悠仁子、天野フェイス、河本千夏、町井望

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的: 貧困などが原因で権利を奪われ困っている途上国の子ども(支援地域のフィリピン、インド、モンゴルなど)が権利が守られ教育を受けられるよう支援します。

内容:フィリピン、インド、モンゴルなど途上国の子どもが貧困から解放され自立できるよう支援事業を実施。

くフィリピン支援事業>

FTCJ では、下記2つのフィリピン支援事業を実施しました。

1. プレダ基金(PREDA Foundation Inc.) 支援

プレダ基金はフィリピン・オロンガポ市にある NGO で性的虐待や刑務所から子どもを保護し支援するなどしています。団体名の PREDA は、Peoples Recovery Empowerment and Development Assistance の略で「人々の回復や発展の支援」という意味です。1974 年アイルランド人のシェイ・カレン神父とフィリピン人のヘルモソ夫妻によって設立され「子どもや女性、貧困層の人々を守る」という使命を掲げて活動しています。貧困層の自立のためフェアトレード事業も行っています。ノーベル平和賞に過去2 回ノミネートされるなど世界的に評価されています。

2. ミンダナオ島先住民族コミュニティ 自立支援スタート!

2011 年から新たに始まった支援事業です。フィリピン南部ミンダナオ島ダバオ・デル・ノルテ州ビナンシャン・バランガイに暮らす先住民族『ディババウォン族』コミュニティには、幼児3~5歳が約200人いますが幼児対象の教育施設が古くて壊れそうなため使うことができていません。また、小学校にも教室が足りないために幼児教育は行われていません。従って、フィリピンの義務教育の一環となった就学前教育が全く実施することができずにいます。子どもの権利条約の4つの柱である生存、発達、保護、参加の観点から包括的に子どもの権利を守るためには就学前教育の充実が重要であるという考えから、幼児教育のための教育施設(デイケアセンター)の建設を行うことを計画しています。

事業名	事業内容	実 施日 時	受益対象者 の範囲及び 人 数
プレダ基金 支援	プレダ基金で保護されている子ども(少女・少年あわせ約 200 人)への教育、職業訓練、栄養強化、自立支援を実施。また、プレダ基金が販売するフェアトレード商品を購入し貧困層の自立支援に取組ました。	通年	保護・支援し た少年・少女 200 人
ミンダナオ島 先住民族 コミュニティ 自立支援	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金を、ディババウォン族の就学前教育を行う施設(デイケアセンター)の建設のためにプールしています。建設には 150 万円必要なので、1年では十分な資金が集まらなかったため、引き続き 2012 年に持ち越します。建設後は地域の NGO と協力して運営を行い、5歳以下の幼児教育の他、地域の親向け(特に母親)の保健衛生教育、職業訓練セミナー、地域の小学校以上の子どもへの文化理解教育を実施します。	通年	ディババウォ ン族の幼児・ 子ども 300 人

プレダ基金による少年への職業訓練支援の様子



ミンダナオ島先住民族コミュニティの子どもへの教育支援



<インド支援事業>

FTCJ では、下記2つの地域にて貧困地域の子ども支援事業を行いました。

- 1. 西ベンガル州の貧困の中におかれた子どもを救出、自立する支援活動。
 - ◆事業目的: 貧困が原因で権利を奪われ、児童労働などの過酷な環境に置かれているインド西ベンガルの子どもが、 FTCJ の支援を通して貧困状態から助け出され、安心で健康的な子ども時代を送り、自立して生活できるための教育を受けられるよう支援します。
 - ◆パートナー団体: Center for Communication and Development(以下 CCD)

<設立経緯・背景>

1978 年に起こった洪水がきっかけとなり被害を受けた人々を支援するため代表のスワパン氏が中心となって CCD が設立された。市街地から離れた所に医療診療所(Medical clinic)を作ることから着手し、学校のない村に学校建設や収入向上プロジェクト(Economic welfare activities)を開始。このプロジェクトは、翌年からは危険な環境で働く子どもを救出し家族のもとへ返したり保護施設に預けたりする活動を始めた。現在は、CCD 自体が貧困のため家族と一緒に過ごせない子どもや過酷な環境で働いていた子どもを救出し、子どもたちが安心して生活できるような環境を提供するため養護施設「マクタニール子どもの家」を運営し、現在、3歳~16歳までの子ども24人が生活しています。そして、FTCJは、この施設で暮らす少年の教育費や食費などをサポートしています。

事業名	事業内容	実 施日 時	受益対象者 の範囲及び 人 数
CCD マクタ ニール養護 施設運営 事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った 資金を主な支援金として、この施設で生活する子どもが学校に通え、栄養ある 食事で健康に暮らせるよう支援しました。具体的には学校に通うために必要な 制服や文房具、ワークショップ教材費や、食費に使われました。また、施設では 美術や体育などの情操教育を通し、より豊かな心身の発達を育んでいます。	通年	マクタニール擁 護施設で生活 する 24 人の 子ども



CCD で保護されセンターで施設で生活している子ども達(左、下)。 日本から届いた手紙を呼んでいる様子(下)。



2. ラジャスタン州の貧困農村地域の子どもへの支援活動

- ◆事業目的:インドのラジャスタン州ウダイプール周辺ラジャスマンド地方貧困農村地域で生活する子どもたちが、FTCJの 支援を通して子どもの権利を守られ安全で健康な子ども時代を送り、それぞれの環境で自立して生活するのに十分な教育を受けられるよう支援します。
- ◆事業実施体制:FTC ネットワークにより実施(FTC インドとの連携協力)

◆支援地域について

支援事業地:ラジャスタン州ウダイプール周辺ラジャスマンド地方ウダワド村(ウダイプールから 100km の距離)

支援地背景:ラジャスマンド地方農村地区の人口の 75%は未開拓地に住んでいます。それらのコミュニティーには様々な少数民族が住んでいます。このような僻地に住んでいる先住民族の人々は長い間社会から隔離され、取り残されてきたといえます。村は深い森と高い丘に囲まれており、土地は平らではありません。村には電気やガスは通っていません。また、灌漑用水も無く土地を耕作する事が出来ないので、村人の多くはやせた土地に住んでいるため出稼ぎ労働に従事しています。ウダワド村には 150 以上の世帯があり、1000 人近くが住んでいます。公的なサポートや介入が遅れているため、この地区の識字率は 16%以下で、女性だけの場合は 6%以下となっていました。

支援地課題: 地域特有問題として、土地の大部分が政府に所有されている事で、25%だけが人々が耕作する為に残されていますが、岩と穴だらけ。職不足と水不足と食不足が続いており、住民は悩まされています。

事業名	事業内容	実 施日 時	受益対象者 の範囲及び 人 数
インド農村 地域自立支 援ー学校建 設事業	学校設備が不足していたため、子どもが学校に通い教育を受けられるよう、学校建設を実施。結果、4 つの教室が完成しました。本来学校に通うべき年齢の子どもが村には 154 人いますが、FTCJ が学校を建設する以前はたったの 40人弱のみが小学校に登録していましたが、建設後は、92人の登録となり、村人へのアプローチの結果、女児の就学率が飛躍的に伸びました。また、生徒への教育支援として、文房具の配布なども行いました。また、村人の健康や衛生面の向上のために、学校の敷地内にキッチンガーデンを設置し、ハーブや野菜を植え、育て収穫する技術を子どもや村人に教えるセミナーを実施しました。	通年	ウダワド村の 子ども 154 人 及びその家族 800 人





ウダワド村の学校が完成しました!今では100人近い子どもが通っています。完成した学校に通う子どもと子どもメンバーが交流しました。

くモンゴル支援事業>

図書施設運営事業 :2008 年 8 月に建設したゲル図書施設の運営を行いました。

- ◆事業目的: 支援事業地周辺に住む子どもが図書館に来ることで、様々な本が通じて想像力を養い、識字能力を高めることができるようになる。ひいては、自身の夢や希望を持ち実現のために歩むことができるようにする。
- ◆支援事業地:首都ウランバートル(UB)市バヤンズルフ地区 ゲルで暮らす人々が多くいるUB市の東に約10KMの車市場近くにある#92学校のとなり(第8地区内)の土地。約3,000 人の貧困家庭の子ども(16歳以下)が住んでいる地域で、この地区に住む16歳以下の子どもの4分の3にあたる人数。
- ◆協力体制:NPO 法人アジアの会 代表 高岡良助氏 / 基本的には月曜~金曜まで週5日間を開館運営

事業名	事業内容	実 施日 時	受益対象者 の範囲及び 人 数
移動図書館 設置運営 事業	「ゲル図書施設」運営をすることで、モンゴルの厳しい暑さや寒さから身を守り、勉強や交流、安らぐ場所としてゲル施設を機能させました。子どもが読書や勉強など知識を深めることができる場所とするため、図書施設の運営を実施。また、本を読みに来る子どものケア、手洗いうがいの呼びかけ、文字の読み書きレッスン、日本語レッスン、音楽レッスン、算数レッスンなどを実施しました。同時に日本の支援者との文通を通じた交流を実施しました。2011年を通し少ない月で述べ1000人、多い月で3200人もの子どもが本を読みに来ました。	通年	支援地域に 住む 2000 人 の子ども





FTCJ ゲル子ども図書館に本を読みに来ている子ども達。日本の大学生ユースメンバーが現地を訪問して交流しました。

<東日本大震災緊急支援事業>

FTCJ では、被災地域の幼稚園・学校、教育委員会と繋がって活動しました。

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者 の範囲及び 人 数
相馬市・ 南相馬市の 子ども 教育支援	東日本大震災を受け、FTCJでは相馬市や南相馬市の学校を支援するため、募金を募るなどして2011年10月までに158万円を集めました。この支援金を使って、福島県相馬市の幼稚園、小中学校、高校など28の学校に通う約5000人の園児や生徒に対して、300台の扇風機を支援物資として購入し、各学校にメッセージと共に送りました。 福島では地震や津波の被害に加え、放射能汚染の被害などもあり、学校では窓を開けずに授業を行いたいと考えていましたが、十分な扇風機が足りずに困っていることが分かりました。そこで、FTCJは皆様からのご寄付で300台の扇風機を送ることで、放射能の心配をせずに授業が受けられる環境づくりにサポートすることにしました。活動助成協力: Give2AsiaFoundation	6月~ 12月	被災地域の 学校に通う 5000 人の 子ども

相馬市の幼稚園、小学校、中学校、高校に送った扇風機を使っての授業風景





〈東アフリカ干ばつ緊急支援事業〉

FTCJ では、干ばつで栄養失調に陥った東アフリカの乳幼児や子どもへ緊急支援を行いました。

東アフリカ干ばつの影響で 29,000 人以上もの子どもが命を落としているという発表を 9 月に国連から出されたことを受け、10 月から東アフリカ緊急支援事業を立ち上げ、短期と長期支援の2つを打ち出し、干ばつ被害を軽減する対策を講じました。

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者 の範囲及び 人 数
東アフリカ 干ばつ緊急 支援	FTC は国連高等弁務官事務所(UNHCR)と協力して9月には、1万7千世帯に15トンの水を配給し、ダダーブのキャンプまで何日も歩いて到着した多くの新たな難民には、1ヶ月分の必需品が配給するなどの緊急支援を実施しました。【その他の支援】・Masai Mara 地区の Sikirar 村に、衛生的な水へのアクセスが可能になるように、深井戸の設置のために掘削を行い、村人が水を得られるようにサポート支援を実施・リフトバレー州ナロク県にあるバラカ・クリニックセンターにて、女性(特に妊産婦)や子ども及び乳幼児を対象にした栄養補給(ビタミン、ミネラル補給)、学校管理委員会と協力して、Masai Mara や Mulot 地区のコミュニティ(Salabwek 村など)の学校での食事配給支援、学校菜園や、一般向けの菜園にて、玉ねぎ、にんじん、ケール、キャベツ、ホウレンソウなどの育成の指導とサポート、栄養強化のための配給プログラムの実施。活動助成協力: JANIC まとめて募金	10月~ 3月	ケニアの Mul ot 地区及び Masai Mara 地区内に サ 女性、 サ 生 、 リ 、 リ 、 リ 、 リ 、 リ 、 リ 、 リ 、 リ 、 リ 、







(6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業報告

担当:浅田紀子、天野フェイス、Andy Hancock、出野恵子、工藤貴子、倉下由香、中島早苗、町井望

	I	I	1	
事業名	内 容	実 施日 時	実 施場 所	従事者 の人数
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	_	40 人
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の助成を受け研修を受講 ・Panasonic NPO サポート ファンド組織診断事業 ・JICA アドバイザー派遣(会計士さんに来て頂き会計知識を習得) 東京 事務所			
個人情報 管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京事 務所	6 人
問い合わせ対応	e メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例:事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など(新規メンバー登録 210 人)	通年	東京事 務所、 大阪連 絡所	6人
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。		東京	2 人
理事会 運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。		事務所	10 人
その他	事務所運営管理、什器管理など。		事務所	5 人

【メディア掲載一覧】 2010 年度にメディアで配信された FTCJ の活動やメンバーやスタッフの寄稿による団体紹介です。

メディア配信・媒体名	時 期	内 容
人権タイムス 機関紙	4 回	代表理事・中島早苗による子どもの権利に係わる原稿掲載されました。
高校家庭科教科書	2011 生活学	FTCJ の活動が紹介されました。
	Navi	
中学公民教科書	ビジュアル公民	子ども兵士や教育を受けられない子どもについての情報提供。
÷11. + - 7. # 71. †	2011	
高校英語教科書	UNICORN	FTC を創設したクレイグ少年の物語がレッスントピックとして掲載されています。
高校英語教科書	English Now!	FTC を創設したクレイグ少年の物語がレッスントピックとして掲載されています。
BS11『INsideOUT』「東日本大		FTCJ が行っている東日本大震災のためのチョコプロの活動を事務局ス
震災 パブリック・アクセス=市	2011.04.05	タッフのフェイスと FTCJ の活動紹介を子ども代表の志賀アリカと星野響
民による震災報道」		子が紹介してくれました。
熊本日日新聞	2011.04.13	FTCJ 熊本支部の活動とインドとの交流事業について紹介されました。
共同通信	2011.05.23	『Teen いいじゃん!』チョコプロの販売利益を被災地支援のために送っ
X 1-9 XE III	2011100.20	ている活動が紹介されました。
毎日新聞	2011.07.24	FTCJ の活動が紹介されました。
毎日新聞	2011.09.10	FTCJ の活動が紹介されました。
山梨日日新聞	2012.01.25	山梨の学生 FTCJ メンバーによるイベントが紹介されました。
JANIC シナジー	2012.01	JANIC の機関誌で活動が紹介されました。
BAYFM『田中美里のモーニング クルージン』	2012.02.11	チョコプロの活動が紹介されました。
新聞赤旗	2012.02.12	チョコプロの活動が紹介されました。
朝日中学生新聞	2012.02.12	チョコプロの活動が紹介されました。
NHK『首都圏ネットワーク』12 分	2012.02.14	チョコプロの活動が紹介されました。
毎日小学生新聞	2012.02.14	チョコプロの活動が紹介されました。